

注目の「亜リン酸一カリウム」

PK・アルファー

リン酸 即効吸収!!



保証成分

水溶性りん酸

水溶性加里

56%

37%

1kg×10袋入り



清和肥料工業株式会社



PK・アルファー

即効吸収!!

亜リン酸

+

水溶性カリ

亜リン酸—カリウム

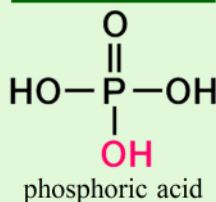
亜リン酸ってなに？

亜リン酸は、リン酸より酸素(O)が一つ少ない H_3PO_3 です。

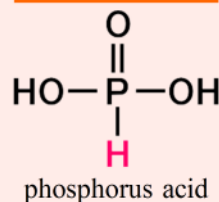
亜リン酸はリン酸に比べて水に溶けやすく、葉や根からリン酸より素早く吸収されます。

植物体内でリン酸に変わります。

リン酸



亜リン酸



亜リン酸の特長と期待される効果

- 亜リン酸は根や葉からリン酸より素早く吸収され、吸収効率が高い（※リン酸の葉面吸収速度は遅い）
- 着花・着果促進効果・果実肥大促進効果
- 根群の充実・健苗育成
- 作物の病気への抵抗力を強くし、病気にかかりにくくする

PK・アルファーの使い方

野菜	育苗期	本葉展開後2,000~4,000倍で葉面散布 1,000~2,000倍液灌注(浸漬)処理(500mL/セルトレイ)
	果実肥大期	2,000~4,000倍で葉面散布
	葉菜・豆類	2,000~4,000倍で葉面散布 1,000~2,000倍で灌注処理
	アスパラガス	1,500~3,000倍で8月中下旬から4回葉面散布、灌注
大豆(黒大豆)		1,000~1,500倍液を3葉期と7葉期頃に株元散布
果樹	柑橘	2,000~3,000倍で2月下から3回葉面散布(果実厳禁)
	その他	2,000~4,000倍で葉面散布
穀物類		1,000~2,000倍で葉面散布
養液栽培用培養液		成分比でリン酸:亜リン酸=4:1~3:2に調製する



高濃度では葉害の恐れがあり、使用濃度を厳守すること。

石灰硫黄合剤と混和すると危険！ 他剤との混用は、混和性・葉害等を確認の上使用すること。柑橘類の果実には葉害の恐れがあり、散布しないこと。

土壌が乾燥しているときは、必ず前日に十分灌水を行ってから散布すること。

日中の葉面散布は行わないこと。

養液栽培用培養液に使用する場合は、亜リン酸比率40%程度を上限とする(収量等の低下)。